

芦北町議会だより



うたせ

第48号

平成29年
2月2日発行



初日の出を望む（御立岬公園）

- 1 2月定例議会 P2
- 補正予算等の主な内容 P3
- 議案の審議結果 P4
- 一般質問 P5～6
- 議会研修報告 P7～9
- 議会のうごき・編集後記 P10



初詣客でにぎわう佐敷諏訪神社

12月 定例議会



11月30日、芦北町名誉町民坂本榮吉氏の死去に伴い、町葬に対する同意を求める議案が提出され、12月2日に臨時議会を開催し、全会一致で同意しました。

また、定例議会は、12月5日に招集され、8日までの4日間の会期で開催しました。

上程された議案は、平成28年度一般会計補正予算ほか、特別会計補正予算3件、条例の制定及び一部改正7件、指定管理者の指定1件、あらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更、和解及び損害賠償額の決定2件、教育委員・固定資産評価審査委員会委員・人権擁護委員の諮問及び同意8件で、いずれも審議の結果、原案のとおり全会一致で可決しました。

また、熊本県町村議会議長会から提出されていた、地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出に関する要請については、審議の結果採択されました。

最終日には、2議員が登壇し、町政全般にわたり一般質問を行いました。（議案の内容と結果は、4ページに記載）

【新任】



のぐち ひろし
野口 博司氏
(小田浦4)

【H9から8期目】



いしい ちゅうや
石井 忠也氏
(白岩)

【H16から6期目】



ふくやま かつとし
福山 功敏氏
(高岡北)

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

【H23から3期目】



しぶや いたる
澁谷 百練氏
(向町)

教育委員会委員の任命に同意

【新任】



ながの
永野ゆき子氏
(海浦2)

【新任】



おおつか ゆうじ
大塚 雄二氏
(田浦4)

【新任】



やまかわ たかひさ
山川 高久氏
(宮崎)

人権擁護委員に推薦

【H21から3期目】



くすはら まさゆき
楠原 眞幸氏
(乙千屋)

平成28年度 補正予算を可決 一般会計・特別会計等を併せて 1億9,904万円を追加

(金額は1万円未満を四捨五入)

会 計 名	補 正 額 (増 額)	補 正 後 の 総 額
一 般 会 計	1 億 7, 3 7 1 万円	1 0 1 億 1, 6 0 1 万円
国民健康保険事業特別会計	2, 3 3 6 万円	3 7 億 2, 4 8 3 万円
介護保険事業特別会計	1 9 1 万円	2 3 億 0, 9 9 3 万円
町有温泉事業特別会計	6 万円	9, 3 0 6 万円
今回補正が行われなかった会計	—	8 億 7, 0 2 0 万円
合 計	1 億 9, 9 0 4 万円	1 7 1 億 1, 4 0 3 万円

補正予算 の 主な事業

◎ 一般会計

臨時福祉給付金事業	8, 7 6 8 万円
林道施設災害復旧費	2, 7 1 9 万円
保育所措置費	1, 1 6 8 万円
ふるさと応援寄附金事業※	8 6 8 万円

◎ 国民健康保険事業特別会計

前年度事業償還金他

◎ 介護保険事業特別会計

次期計画策定調査費他

◎ 町有温泉事業特別会計

人件費



ふるさと応援寄附金事業 PR ホームページ

※今回補正した、「ふるさと応援寄附金事業」とは？
『ふるさと応援寄附金』は、応援したい県や市町村に寄附をすると、住民税・所得税などが減額される制度です。地方公共団体に対する寄附金のうち2,000円を超える部分について、住民税と所得税から、原則として全額控除されます。(一定の上限はあります。)

芦北町では、12月末現在で約6,700万円の寄附を受けており、寄附金に対する返礼品の予算の不足が見込まれるため、今回の補正予算となったものです。

平成28年 第4回 芦北町議会臨時会

区 分	議 案	内 容	審議結果
同意第1号	芦北町名誉町民故坂本榮吉氏の町葬について		同 意

平成28年 第5回 芦北町議会定例会

区 分	議 案	内 容	審議結果
要請第2号	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出に関する要請について		採 択
承認第6号	平成28年度芦北町一般会計補正予算 (第4号)	概要等は、P3に掲載	承 認
議案第58号	平成28年度芦北町一般会計補正予算 (第5号)	〃	可 決
議案第59号	平成28年度芦北町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	〃	〃
議案第60号	平成28年度芦北町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	〃	〃
議案第61号	平成28年度芦北町有温泉事業特別会計補正予算(第1号)	〃	〃
議案第62号	芦北町人権擁護に関する条例の制定について	差別をなくし、町民の基本的人権の意識の高揚を図るための条例	〃
議案第63号	芦北町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について	農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例	〃
議案第64号	芦北町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	人事院勧告に基づく給与改定	〃
議案第65号	芦北町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	人事院勧告に基づく職員の給与改定に伴う期末手当改定	〃
議案第66号	旧芦北町教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
議案第67号	芦北町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
議案第68号	芦北町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	農業委員会等に関する法律の一部改正に伴う報酬改正	〃
議案第69号	芦北町水産物直売施設の指定管理者の指定について	指定管理者(株式会社 葦彩)の指定	〃
議案第70号	あらたに生じた土地の確認について	県道水俣田浦線改良に伴うあらたに生じた土地の確認	〃
議案第71号	字の区域の変更について	県道水俣田浦線改良に伴う字の区域の変更	〃
議案第72・73号	和解及び損害賠償額の決定について	公共施設で発生した事故の損害賠償額の決定及び和解	〃
同意第2・3号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同 意
同意第4・5・6号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて		〃
諮問第2・3・4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		〃
発議第2号	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書について		可 決
議案第74号	平成28年度芦北町一般会計補正予算(第6号)	概要等は、P3に掲載	〃



坂本議員

一般質問(要約)

町民の雇用の場の確保は!

質 町民を多く雇用している東海カーボン㈱は、フ

アインカーボン事業の構造改革及び希望退職者の募集など経営合理化策を実施すると5月末に公表している。

公表が明らかになつてから町はどう対応してきたのか。

答 町長

町としては最大限の協力を約束し、一層の経営努力により、町民への影響が出ないよう、特段の配慮を直に重ねてお願いをした。

これまで長年にわたつて培つてきた信頼関係、さらに3回にも及ぶ町との立地協定等を最大限に配慮していただくことで、地元採用の社員については、事前にアンケートを取つた上での転勤という形で対応するとの決断をいただいた。さらに、その対象者も当初の計画よりも随分と少なくつたと報告を受けた。

質 東海カーボン㈱田ノ浦工場に対し、どのような

優遇措置を講じてきているか。

答 町長

平成20年度に企業立地促進補助金3,000万円、また、芦北町工場等設置奨励条例により、固定資産税が一部

免除されている。そのほか、

平成22年5月に小田浦地区排水機場を整備し、平成26年2月には、同排水機場に除塵機を設置している。このことは、芦北町が排水対策に責任

をもつて、いち早く取り組んだことで、田浦工場の増設が決定したという経緯がある。

質 経営合理化策は、町の財政や地域経済に大きな

影響を与えていると思うが、町民の雇用の場の確保について町長はどう考えているか。

答 町長

東海カーボン㈱が今後も町の活性化に貢献をしていただくべく、中期経営計画の達成を願うとともに、雇用の場の確保を重要な施策と捉えて、すべては次の時代を担う子どもたちのために、さらに尽力したいと考えている。

介護保険制度見直しは

質 平成27年度から、国は介護保険制度を見直し、

要支援1、2は各自自治体の「新しい介護予防・日常生活支援総合事業」へ移行するとした。

移行後の事業運営に当たつて、サービスの低下や事業運営の問題などはないか。

答 住民生活課長

現在のところ、サービスの低下または事業運営の問題等は発生していない。

質 町は、移行後の多様なサービス、緩和した基準

によるサービス、住民主体による支援、短期集中予防サービスなど、どのように取り組んでいるか。

答 住民生活課長

生活支援サービスなどを実施している事業については、閉じこもり予防通所支援事業、高齢者筋力トレーニング事業、見守りを兼ねた食の自立支援事業を実施している。

質 制度見直し後、基本チェックリストのみで判定された人は何名か。また、窓口になる職員は専門職員でなく

てよいのか。

答 住民生活課長

現在、基本チェックリストのみで判定した人はいない。また、役場の窓口になる職員は専門職でなくてもできると考えている。

質 介護保険サービスの向上、介護従事者の人材確保のための財政支援を、国・

県に強く要請してほしいがどうか。

答 住民生活課長

サービスの質の向上及び人材の確保等については、将来の高齢化を見据えて、国の社会保障審議会で現在議論されているところであり、議論を見守りたい。

保育所利用者負担の軽減は

質 第二子目以降の保育所利用者負担金を無料とし、子育て世帯の負担を軽減する考えはないか。

答 町長

本町の保育所利用者負担金は、近隣の自治体と比べても低い負担となっている。

現在、第三子目の3歳未満の子どもは無料となっているが、4歳・5歳まで無料化できないか検討する。

質 保育所利用者負担金を第二子目以降、無料にする場合、財源はどれくらい必要となるのか。

答 町長

約4,200万円の財政負担増と試算をしている。

一般質問(要約)



川尻議員

芦北町総合戦略の取組について!

質

国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の方針のもと、芦北町においても総合戦略を策定し4つの目標を掲げ取り組んでおり計画策定から早や1年を経過した。中でも、人口減少問題への対策が本戦略における重要課題であると考えている。

そこで、基本目標の中の

○移住・定住支援による地域の活力づくり

○結婚や出産に向けた環境の充実

○子育て環境の充実について

以上の具体的施策の取組の現状はどうなっているか。

答

町長

総合戦略の取組が緒に就いたばかりの段階であるので、これを確実に実施していくことが大事と考えている。

答

企画財政課長

移住・定住支援については、空き家情報の整理や移住希望者に対する情報の一元化を図るためのポータルサイトを

などを、具体的な取組として

掲げており、運用開始後「ふるさと寄附金・子育て情報・空き家情報」などを掲載している。

結婚や出産に向けた環境の充実については、産みたい女性への支援として不妊治療費に対する助成制度を開始し、現在まで4組が制度を利用している。

結婚支援事業は、八代市や氷川町と連携する定住自立圏共生ビジョンなどの中でも協議している。

子育て環境の充実については、保育園での一時預かり事業や学童保育等の充実、高校生までの医療費無料化の継続、図書館の再整備などを、具体的な施策として掲げている。

質

掲げている施策のほかに、新たな施策の考えはないか。

答

町長

総合戦略は、施策の効果を検証し、改善する仕組みを確立することが求められている

ため、評価委員会等の意見を伺いながら、改善すべきところは躊躇なく改善していき、新たな課題に対する有効な施策などは積極的に取り入れて成果を出していきたい。

地域防災計画及び防災マップの見直しについて

質

芦北町防災マップが平成26年3月に全戸に配布されており、また、地域防災計画の資料版27年度分が出されている。東日本大震災から5年8か月が過ぎ、その後、熊本地震が発生し8か月を経過しており、いづどこで地震が発生してもおかしくない現状である。

その後、地域防災計画などに見直しの進捗状況はどうなっているか。

答

総務課長

現在、地震対策をはじめ総合的な見直しを進めている。発生時の対策として警戒配備体制の見直しと避難所開設・運営について、被災時では備蓄物資の見直しと自助・共

助の推進及び復興、その他では仮設住宅建設予定地の選定と耐震化促進事業の推進などについて検討を終えており、今後、災害対策本部会議で協議を行い、見直しができた事項から順次実行に移し、本年度内には全ての見直しを終えたいと考えている。

質

国の防災基本計画では、県や市町村においても災害時の業務継続計画の策定が求められているが芦北町の策定状況はどうなっているか。

答

町長

芦北町でも大規模災害時の重要な計画と捉えており、地域防災計画と調整を行いながら策定に向けて取り組んでいる。

答

総務課長

地域防災計画の中に、業務継続計画に関する計画を一部掲載しているが、今後、重要な要素を全て盛り込んで計画策定に鋭意進めていく。

総務常任委員会 研修報告

参加者：草野安道委員長、寺本順一副委員長、
藤井公明委員、白坂康浩委員、
荒川知章委員、寺本修一議長

総務常任委員会所管の継続調査として挙げている防災に対する危機管理体制についての研鑽を深めるため、平成28年10月25日から27日の2泊3日の日程で、石川県加賀市と大阪府八尾市の視察研修を行いました。

加賀市

「議会の防災に対する取組について」

加賀市は、平成17年に加賀市と山中町が合併し、現在の加賀市となりました。人口は約7万人、面積306km²であり、議員定数20人（現在の議員数17人）と、本町と合併は同年でありましたが、人口は約3・7倍の規模でした。

研修に当たって、谷本議長に歓迎の言葉をいただき、表議会事務局長に議会の防災に対する取組を含め、議会活動全般にわたって詳細な説明を受けました。

中でも、加賀市議会災害対策支援本部設置要綱は大変参考になり、芦北町議会においても要綱の策定に向け、取り

組みたいと思いました。

また、議会においてタブレットパソコンの導入によりペーパーレス化を図り、経費削減及び情報の共有化が図られ、大変有効であるとの説明を受けました。「タブレット導入に当たり反対は無かったのか」との質問に対して、



石川県加賀市議会での研修の様子

反対もあつたが、操作が困難な場合は議員同士操作の研修等も行い、全議員活用しているとのことでした。

最後に、芦北町における自主防災組織の紹介をし、加賀市の視察研修を終えました。

八尾市

「災害時の情報管理について」

八尾市は、人口約27万人、面積41・72km²、議員定数28人と規模も大きく、庁舎は10階建ての近代的な建物で、大変立派な議場が備わっていました。

同市においては、熊本地震

の緊急支援に大阪府の支援部隊として、ご尽力・ご支援をいただき、その活動報告ビデオを拝見し、ありがたく胸の詰まる思いがしました。

市議会においては、日頃から防災意識が高く、八尾市議会防災河内音頭が創られ、市民への防災意識の啓発が行われていました。

災害時の情報管理については、全国でも先駆的システムを導入されているとのこと、市役所危機管理課森田課長より、詳しくシステムの紹介や機能等についての説明を受けました。

八尾市議会 防災河内音頭

山河明るき 河内野に
地震 雷 火事 おやじ



愛する家族や隣人を ぶるさと八尾を守るため
はぐくみ育てた地域の力
河内音頭にのせまして 防災・減災進めましょう

日頃の備えを万全に
避難訓練 非常食 避難ルートに危険箇所
家族集合の避難場所 不断の備えて憂いなし
豊かな地域の活動で 自分を守れ 人守れ
地域を守れ ころいき
皆で作ろう 地域のルール

災害が起こった時に、正確な情報をどう把握し、整理し、対策に繋げ、住民の安全を如何に守るかとの課題は、日頃の備え、情報の共有、訓練が重要であるとの思いを強く深めた研修となりました。

（白坂康浩）

建設経済常任委員会 研修報告

参加者：元山秀志委員長、川尻成美副委員長、
宮尾秀行委員、宮内道則委員

平成28年11月7日から9日まで、宮城県東松島市及び仙台市で研修を行いました。

研修の目的は、当委員会が

所管する漁業振興対策のマガキ養殖技術、東日本大震災による被災農地の復興状況、柑橘類をはじめとする本町特産品の東北地方における市場調査で、町執行部から藤崎副町長と担当課職員も同行しました。

まず、本町で取り組んでいるマガキ養殖に対し、稚貝を供給している東松島市の力



マガキ養殖場での研修の様子

養殖業者である(有)長石商店を訪問し、船で養殖棚を見学しながら、同社代表である高橋氏の説明を受けました。



宮城県東松島市議会での研修の様子

中でも、海水温上昇などの環境悪化が死滅の原因とよく考えられるが、立派な力キを育てるポイントは、力キに対し自然に近いストレスを与え、貝柱を大きくすることが重要であるなど、研究に裏打

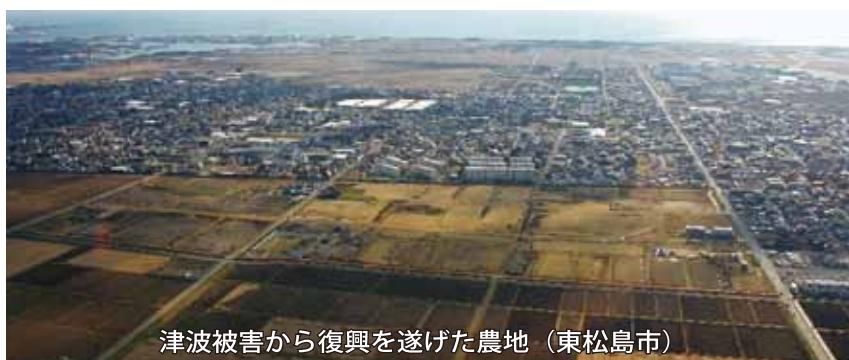
ちされた話に委員も熱心に耳を傾けていました。研修後、本町のマガキ養殖部会も研修を行ってはどうかとの意見も出しました。

次に、東松島市庁舎に移動し、震災で被害を受けた農地の復興について研修を行いました。

同市では、阿部市長及び滝議長から、震災復興への協力に対する謝辞と、復興の現状について全般的に説明を受け、その後、農地復興担当課より進捗状況等について説明を受けました。

震災直後、被災した農家に対し農地の耕作継続意向調査を行った結果、離農を考えている旨の回答が多かったことから、農地保全に向け農業法人の結成を推進する説明会を開催し、国の復興交付金事業等を活用して取り組んだ結果、被災面積1,366haに対し営農可能面積1,304haと、被災前に対し95・5%の復旧が完了していました。

津波という超一級の天災により、全てのものが無となる災害であったがゆえ、大規模で画期的な復興が図られたと思いましたが、市内には嵩上げ中の居住区域の整備地や、



津波被害から復興を遂げた農地（東松島市）

(写真提供 東松島市)

真新しい共同墓地が数多く点在するなど、市民はもとより市職員の並々ならぬ苦勞が伺えました。

本町は、地形・規模・想定される災害の種類も違いますが、大災害に見舞われた場合、また、その復興に向け、自助・共助・公助のしつかりした計画を策定し、住民の生命・財産を守らねばと、改めて強く感じました。

最後は、JAあしきたの果実や野菜など取引のある、仙台卸売市場の(株)宮果を訪問し、本町特産品の販売状況等について研修しました。

研修では、遠山常務の挨拶の後、八島統括部長により、近年の消費者の年代別果物消費金額などの統計資料を用いて、果物の消費傾向やカットフルーツなどの新たな販売手法について詳しく説明を受けました。

市場と産地は密接な関係にあります。デコポン、太秋、サラたまちゃんなど、市場の多様な販売戦略に対応できるよう、より質の高い特産品の増産を推進しなければならぬと思います。

(宮尾秀行)

文教厚生常任委員会 研修報告

参加者……前田徹一委員長、水口宣之委員、
古村逸男委員、坂本 登委員

平成28年11月8日から10日まで定住促進プロジェクトの一環として「日本一の子育て村構想」を掲げている島根県邑南町への視察・研修を行いました。

邑南町は島根県中南部、標高100m～600mの山間に位置し、面積は芦北町の約1・8倍、広大な地域に人口11,100人、高齢化率40・6%と既に高齢化率がピークを過ぎ減少傾向にあり、社会増減数は3年連続で増加している（転出数より転入数

が上回る）町でありました。今回説明された定住促進課の職員は、イターン者の1人で、インターネットで募集されていた邑南町職員採用試験に申込み採用され、千葉県から移住してきたとのことでした。

職から独立するまでの徹底した定住コーディネート定住促進支援委員会による手厚いケア等が実施されていました。定住促進プロジェクトの具体的な政策の中で、少子化対策として平成22年10月「日本

一の子育て村」を目標に掲げ、出産から子育てに係る保育・医療・福祉・教育の中で、保育料の第二子目からの完全無料化（第一子が在園なしでも）が実施されていました。子育て世帯（特にシングルマザー）の移住者が増えており、その要因として保育料の軽減策に加え、安い住居費が上げられていました。

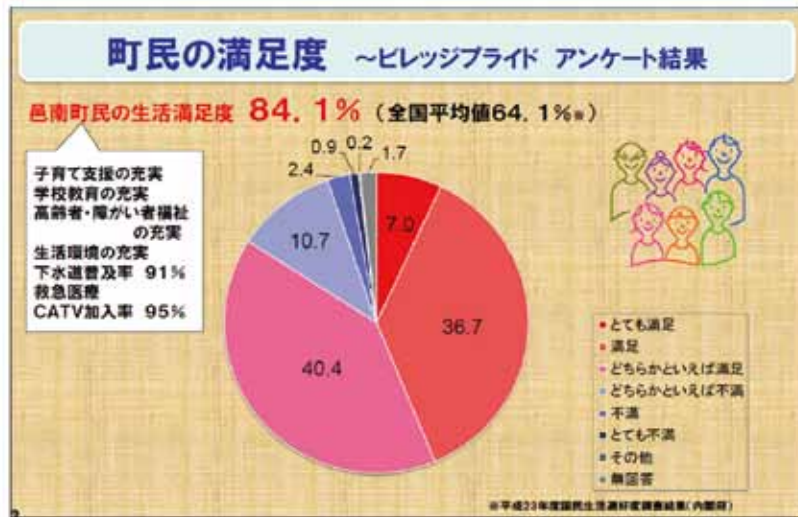
平成27年度の実績として、出生率は全国平均を上回る2・46人（人口維持に必要な出生率2・07人）と成果が出ており、子育て世帯の経済的負担軽減等、反響は非常に良いとのことでした。

その他、幅広く多くの施策に負担軽減が盛り込まれ、子育て村構想の理念として「地域で子育てを」を実践されていた。

教育においては後継者

育成の観点から、卒業後町内において自営又は町内の企業に就職する場合の学資等の免除等、奨学資金制度の有効利用制度も充実していました。総合して定住促進、日本一の子育て村構想に対しての意気込みが感じられました。本町の今後の取り組みに変参考となる研修でした。

（前田徹一）



島根県邑南町での研修の様子

議会のうごき

- 11月7日 地方自治活性化シンポジウム
(東京)
- 8日 建設経済常任委員会研修(宮城県)
(～10日)
- 9日 文教厚生常任委員会研修(島根県)
(～11日)
- 9日 第60回全国町村議長大会(東京)
- 9日 水俣・芦北地域振興推進協議会後
期要望活動(東京)(～10日)
- 14日 熊本県町村議会議長会広報研修会
(菊陽町)
- 17日 南九州西回り自動車道建設促進大
会(東京)
- 12月2日 議会臨時会
- 5日 12月定例議会(議案審議)
- 8日 12月定例議会(一般質問)
議会広報特別委員会
- 22日 熊本県町村議会議長会理事会
- 1月12日 熊本県町村議会議長会議長研修会
(熊本市)
- 13日 議会広報特別委員会

平成28年度 町村議会広報研修会



平成28年度 町村議会広報研修会

平成28年度町村議会広報研修会が、11月14日菊陽町図書館ホールで開催されました。県内町村議会から約160人が出席し、芦北町議会広報特別委員会からは4人の委員が出席しました。

研修会では、まず、第13回熊本県町村議会広報コンクルールの表彰が行われた後、熊本日日新聞社NIE専門委員で、熊本大学客員教授越地真一郎氏により、「議会広報優秀作に学ぶ」と題し講演が行われました。また、今回入賞された町村議会の広報委員が登壇され、議会広報の工夫や苦労する面などについて、パネルディスカッションが行われ、会場からも広報紙の編集における様々な質問が出されるなど、非常に内容の濃い研修会となりました。



議会広報特別委員会

委員長	宮内道一
副委員長	平松洋一
委員	宮尾秀行
〃	前田秀一
〃	白坂徹
〃	荒川知章

編集後記

あけましておめでとうござい
ます。

議会広報は、私たち議員が議会でのように一般質問や質疑をしているか、また、各委員会ではどのような議論を行っているかなどをお伝えするために、発行させていただいております。

私たち議員も更に研鑽を重ね、知識を高めるとともに、地域住民の皆様の声に、真摯に耳を傾けながら、さらなる住みよいまちづくりのために邁進して参ります。また、皆様方の議会の傍聴もお待ちしています。

これから寒さも益々厳しくなっていくと思われま。体調管理には十分気をつけられてお過ごしください。

本年もどうぞよろしくお願い致します。
(荒川)